

# 田尻だより

平成 21 年

12月号

Vol. 81

次の田尻便りは  
1月5日発行予定です

師走を迎え、本年も押し詰まってまいりました。

個人的には、今年は本当に忙しい年でした。

高校の講師に加え、田尻グリーンツーリズム

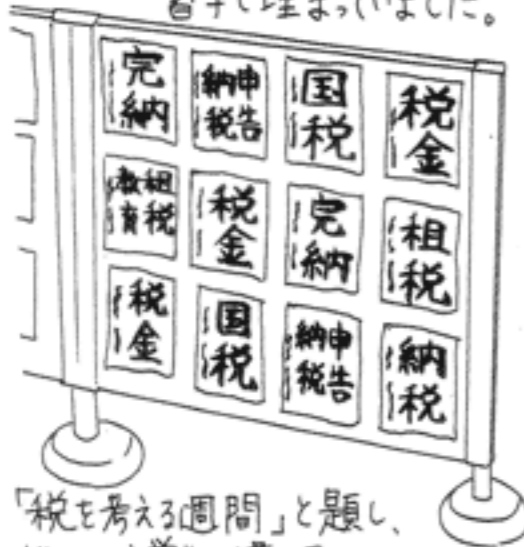
の運営、名古屋COP10

のに向けた各種のイベントの参加等に追われ、

皆に助けられて何とか

過ごした一年でした。

先日、石巻のO'パスコへ行つた際、展示スペースがたくさんの習字で埋まっていた。



「税を考える週間」と題し、地元の小学生が書いた「税」に関する習字がずらり。

〔2万羽の雁を観る会〕

12月5日～6日、田

尻では毎年恒例の2万

羽の雁を観る会が一泊

二日で行われました。

私も勿論、スタッフと

して参加しました。

今回は参加者の半数

が東京の方でした。田

尻は隠れた雁の名所で、

イベントが無くても、

週末には横浜、春日部、

所沢など、関東ナンバ

ーの車で埋まります。

東京では案外有名なの

かもしれません。

→関東のことをひとくくりに「東京」と言う(田舎語)

納税は確かに大事だけれども、小学生に書かせてPRする手法は



世もまだ... 皆喜んで税金を納められるような政治の向上や景気の回復の方が、よほど大事なのではないでしょうか。

このような、雁を観るといふ行為は平安時代からの日本の風習で、実際に雁の名所は日本各地にあります。：が、雁が観れるかどうかは別問題。その雄大な光景はやはり、宮城県でしか観られないのです。勉強会、観察会、温泉に地元民との交流会と、会は終始和やかな雰囲気で行われました。次回は1月16日に開催されます。皆様もぜひご参加ください。

## 未 暦 ～こめごよみ～

11月6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日 米検査をしました。

11月21日 KODOMOバイオバシティが～22日 行われました。

11月12日～ わら上げをしています。

11月は真冬並みの寒気が到来し、田尻でも新型インフルエンザが一気に流行しました。お天気が続いたかと思うと雨が降り、なかなかわら上げが進みません。

## 嫁日記

11月21日～22日、田尻でKODOMOバイオバシティ(生物多様性条約と生きものを守る子供たちの運動)が行われました。日本全国から、大きな旅行バッグを持った子供達が田尻に集まります。

自分の地元を守るべき湿地を持っている全国の子供達。

釧路湿原の高校生をはじめ、小学生の子どもも自分の守っている湿地について発表します。そして、開催地の宝物をフィールドワークで見つけ、地元提案するのです。

感動したのは、田尻の宝物はマガンと環境と農家だと子供達が発表したことです。子供たちの視点を通して、深く学んだ2日間でした。

絵と文/小野寺ひかる